

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成29年3月2日 (2017.3.2)

【公開番号】特開2015-178303(P2015-178303A)
 【公開日】平成27年10月8日 (2015.10.8)
 【年通号数】公開・登録公報2015-063
 【出願番号】特願2014-56086(P2014-56086)
 【国際特許分類】

B 6 2 M 7/02 (2006.01)

【 F I 】

B 6 2 M 7/02 C
 B 6 2 M 7/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月24日 (2017.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

メインフレーム 1 の右側の接続部 3 6 R に、板材からなる第 1 取付片 4 6 が溶接により固着され、第 1 取付片 4 6 に 2 つのねじ孔 4 6 a が形成されている。本実施形態では、ねじ孔 4 6 a は溶接ナットにより形成されている。左側の接続部 3 6 L は、有底の円筒パイプ 4 8 からなり、円筒パイプ 4 8 の底部にボルト挿通孔 4 8 a が形成されている。左側の第 2 フレーム片 1 b における接続部 3 6 L の近傍に、板材からなる第 2 取付片 5 0 が溶接により固着され、第 2 取付片 5 0 に 1 つのボルト挿通孔 5 0 a が形成されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 2 】

つぎに、ボルト 7 4 , 7 6 によりエンジンブラケット 4 0 をメインフレーム 1 に取り付ける。詳細には、ボルト 7 4 を右側のエンジンブラケット 4 0 R のボルト挿通孔 4 2 に挿通し、第 1 取付片 4 6 のねじ孔 4 6 a に締め付ける。また、ボルト 7 6 を円筒パイプ 4 8 のボルト挿通孔 4 8 a および第 2 取付片 5 0 のボルト挿通孔 5 0 a に挿通し、左側のエンジンブラケット 4 0 L のねじ孔 5 2 に締め付ける。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 4 】

本発明は、以上の実施形態に限定されるものでなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内で、種々の追加、変更または削除が可能である。例えば、上記実施形態では、第 1 および第 2 マウント部 M 1 , M 2 をラバーマウントで構成したが、少なくとも第 1 マウント部 M 1 がラバーマウントであればよく、第 2 および第 3 はマウント部 M 2 , M 3 は、ラバーマウントであってもリジッドマウントのどちらでもよい。また、第 1 マウント部 M 1 でクラ

ンクケース 2 2 の前部を支持してもよい。さらに、第 3 マウント部 M 3 もスイングアーム
ブラケット 1 1 に設けてもよい。したがって、そのようなものも本発明の範囲内に含まれ
る。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

